

# 大分県作業療法士連盟・大分県作業療法協会 合同企画

演題：「one team OITA ～令和6年度 医療・介護政策～」

日時：令和6年8月18日（日）10:30～11:30

場所：全労済ソレイユ（大分県労働福祉会館）3階 牡丹

one  
オール市民でまちを創る  
team  
ワンチーム  
おおいた  
OITA

世代も性別も職種もこえて  
みんなのチカラをひとつに。  
理想のまちがこれからはじまる。

大分市長 足立 信也

# 大分市長プロフィール



足立信也(あだち しんや)

生年月日 1957年(昭和32年)年6月5日  
出身地 大分市上戸次  
趣味 スポーツ観戦  
座右の銘 紅蓮(Warm Heart Cool Head)

## 学歴

1976年(昭和51年) 大分県立大分舞鶴高等学校 卒業  
1982年(昭和57年) 筑波大学医学専門学群 卒業  
1990年(平成 2年) 医学博士(筑波大学)

## 職歴

1982年(昭和57年) 筑波大学附属病院医員(研修医)  
1984年(昭和59年) 筑波大学附属病院医員  
1988年(昭和63年) きぬ医師会病院外科診療科長  
1994年(平成 6年) 筑波大学臨床医学系外科講師  
2003年(平成15年) 筑波大学臨床医学系外科助教授  
2003年(平成15年) 国立霞ヶ浦病院消化器科医長  
2004年(平成16年) 筑波メディカルセンター病院診療部長  
2004年(平成16年) 第20回参議院議員選挙(大分県選挙区)で初当選  
2009年(平成21年) 厚生労働大臣政務官  
2010年(平成22年) 第22回参議院議員選挙(大分県選挙区)で2期目当選  
2011年(平成23年) 筑波大学客員教授  
2016年(平成28年) 第24回参議院議員選挙(大分県選挙区)で3期目当選  
2022年(令和 4年) 一般社団法人 新時代戦略研究所 研究顧問  
2023年(令和 5年) 大分大学客員教授  
2023年(令和 5年) 大分市長就任

# 人生で影響を受けた言葉

「君達は大変困難な道を選択した。  
一生勉強し続けなければならない。」

【榊原 仟（さかきばら しげる） 筑波大学 副学長】

「10年後に当たり前になる治療を研究しなさい」

【岩崎 洋治（いわさき ようじ） 筑波大学 教授】

「Creative mind and judicious mind」

【江崎 玲於奈（えさき れおな） 筑波大学 学長】

※ 1973年（昭和48年）ノーベル物理学賞を受賞（「半導体内におけるトンネル現象に関する実験的発見」）

# 政治姿勢の背景など

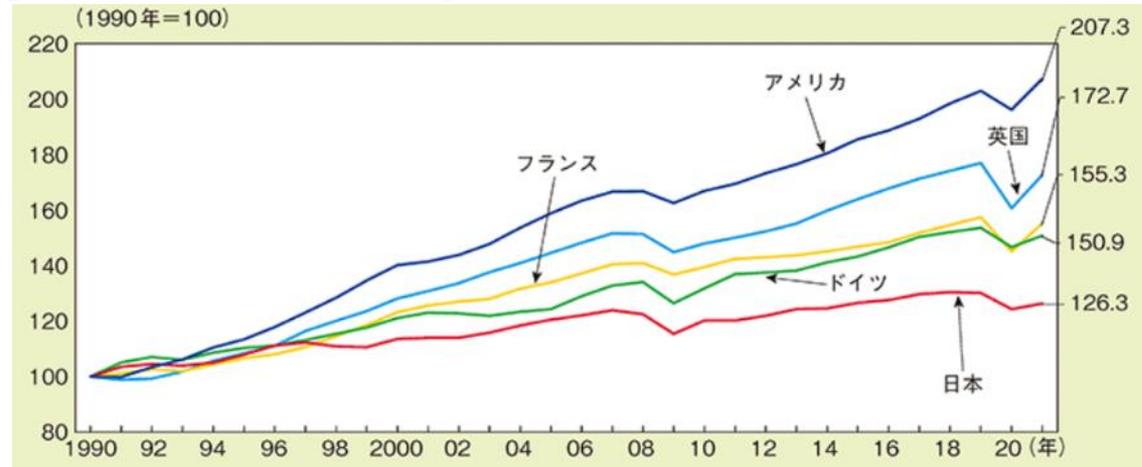
◆日本の実質GDPの推移：126.3 ※主要先進国平均162.5(2021年)、1990年を100とする、

◆日本の実質賃金の推移：103 ※G7各国平均127.5(2020年)、1991年を100とする

◆相対的貧困率の推移：15.4% ※13.5(1991年) ※出所：厚生労働省「2022年 国民生活基礎調査の概況」

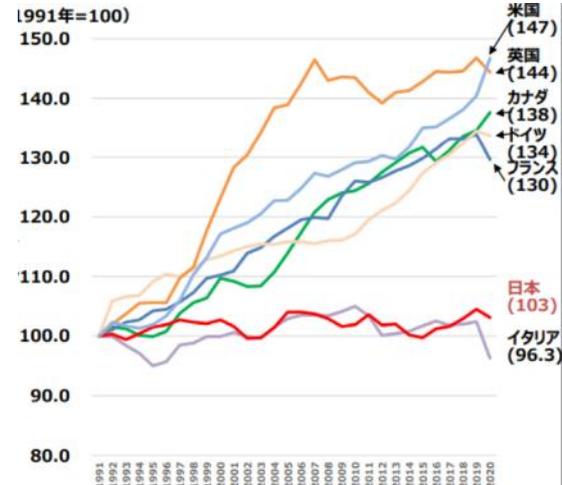
◆悩みや不安を感じている者の割合の推移：75.9% ※46.8%(1991年)  
※出所：内閣府「令和5年度 国民生活に関する世論調査」

【主要先進国の実質GDPの推移】



※出所：内閣府「令和4年度 年次経済財政報告」

【主要先進国の実質賃金の推移】



※出所：内閣官房 新しい資本主義実現本部事務局 令和5年8月31日付基礎資料

Copyright(C) OITA CITY. All Rights Reserved.

# 「ひとが真ん中。」

## ひとを守る

自然災害や感染症などのリスクをあらゆる角度から想定し、被害を最小限に抑え、市民の生命と財産を守ります。

## ひとを育む

妊娠・出産・子育てから大学などの高等教育まで切れ目のない支援で、誰もが安心して子どもを産み育てることができる環境をつくります。

## ひとを支える

少子高齢化による地域コミュニティの衰退などに備え、誰もが役割を持ち、お互いに支え合い、自分らしく輝ける社会の実現をめざします。

## ひとを豊かに

市民生活の向上と心豊かな暮らしを実現します。また、このまちを次世代へ引き継ぐため、持続可能なまちづくりを進めます。

## ひとを元気に

人とまちが元気に輝き続けられるよう、新たな魅力が生まれるまちづくりを進めます。

# 市域（面積）の変遷

2023年(令和 5年) **502.39** km<sup>2</sup>

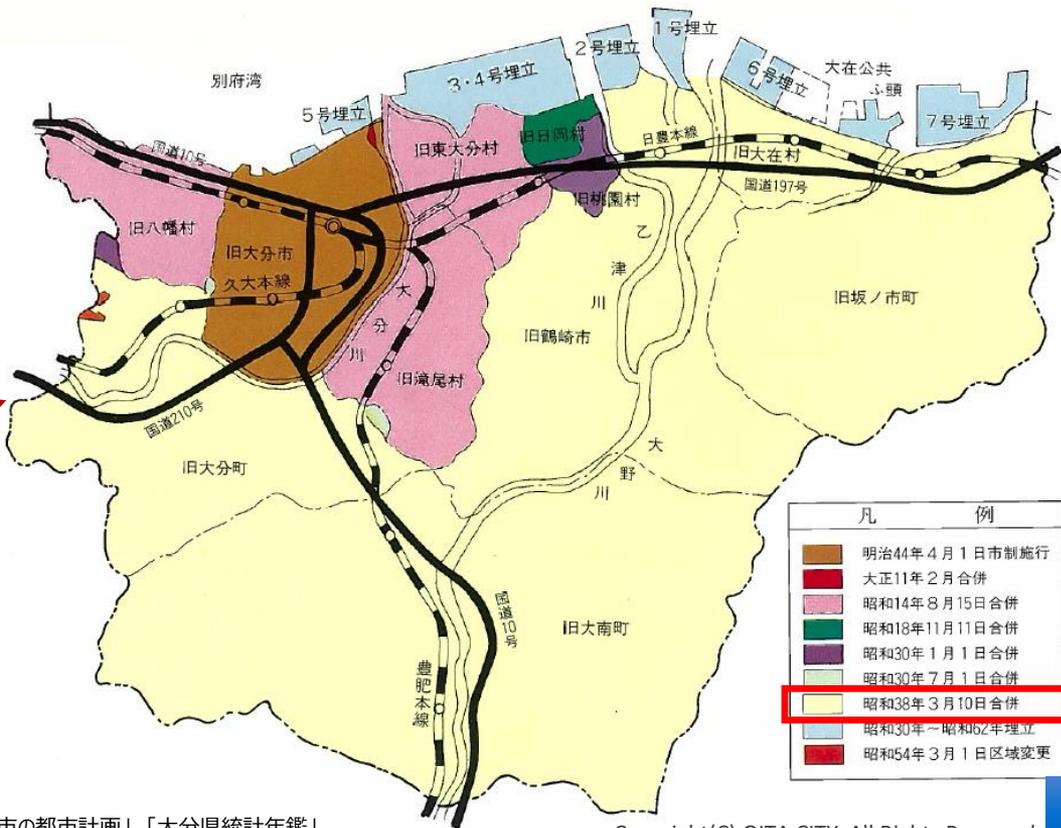
※全国62中核市のうち21番目の広さ(中核市平均403.49km<sup>2</sup>)

2005年(平成17年) **501.10** km<sup>2</sup>

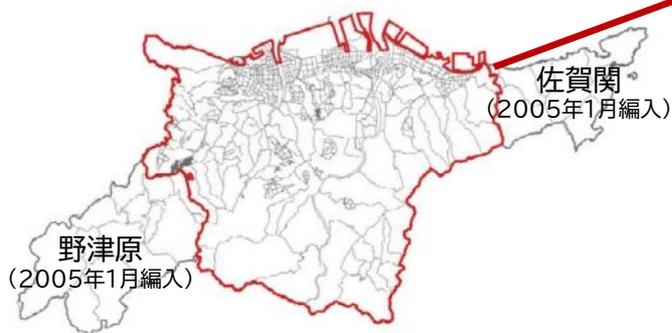
1963年(昭和38年) **343.82** km<sup>2</sup>

1962年(昭和37年) **64.23** km<sup>2</sup>

1911年(明治44年) **20.17** km<sup>2</sup>



凡 例	
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color: #8B4513; border: 1px solid black;"></span>	明治44年4月1日市制施行
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color: #C00000; border: 1px solid black;"></span>	大正11年2月合併
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color: #E91E63; border: 1px solid black;"></span>	昭和14年8月15日合併
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color: #393B79; border: 1px solid black;"></span>	昭和18年11月11日合併
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color: #6A329F; border: 1px solid black;"></span>	昭和30年1月1日合併
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color: #4F81BD; border: 1px solid black;"></span>	昭和30年7月1日合併
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color: #FFF9C4; border: 1px solid black;"></span>	昭和38年3月10日合併
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color: #ADD8E6; border: 1px solid black;"></span>	昭和30年～昭和62年埋立
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color: #FF0000; border: 1px solid black;"></span>	昭和54年3月1日区域変更



※出所：「大分市統計年鑑」、「中核市都市要覧（令和5年度）」、「大分市の都市計画」、「大分県統計年鑑」

# 大分市の令和6年度当初予算のポイント等

会計区分	令和6年度 当初予算(A)		令和5年度 6月補正後(肉付後)予算(B)		増減率(%) (A/B)
一般会計	2,118 億	5,000 万円	2,161 億	4,200 万円	△ 2.0
特別会計	1,055 億	1,900 万円	1,022 億	600 万円	3.2
水道事業会計	188 億	500 万円	193 億	6,600 万円	△ 2.9
公共下水道事業会計	271 億	円	304 億	2,200 万円	△ 10.9
計	3,632 億	7,400 万円	3,681 億	3,600 万円	△ 1.3

- 新規事業** 36事業 6億円
- 拡充事業** 27事業 19億8,000万円増
- 新たな施設の供用開始**
  - 荷揚複合公共施設
  - 道の駅たのうらら
  - 大在東小学校 など
- プライマリーバランス** 20億円の黒字

行政改革推進プラン令和5年度効果額 ※一部見込含む

効果額 **29億円のプラス**(歳入:16億円、歳出:13億円)

【歳入の主な内容】

- 公有財産の売却等 9億6,200万円
- 残骨灰の有価物の再利用 3,600万円

【歳出の主な内容】

- 事務事業の見直し △7億3,000万円
- PPP/PFI手法等の活用 △2億8,500万円

# 県内の人口の状況

・令和6年7月1日現在の人口

**1,086,740**人

・前年同月比

**-11,179**人

<内 訳>

自然増減 -10,656人

社会増減 -523人

市町村	R6. 7. 1人口	前年同月	人口増減
県合計	1,086,740	1,097,919	-11,179
大分市	470,886	472,887	-2,001
別府市	112,536	113,348	-812
中津市	80,773	81,966	-1,193
日田市	59,052	59,912	-860
佐伯市	61,950	63,296	-1,346
臼杵市	33,674	34,224	-550
津久見市	14,399	14,796	-397
竹田市	18,437	18,969	-532
豊後高田市	21,416	21,691	-275
杵築市	25,955	26,455	-500
宇佐市	50,008	50,803	-795
豊後大野市	31,200	31,860	-660
由布市	32,238	32,261	-23
国東市	24,436	24,949	-513
姫島村	1,515	1,571	-56
日出町	27,233	27,376	-143
九重町	7,802	7,990	-188
玖珠町	13,230	13,565	-335

※出所：「大分県の人口推計」

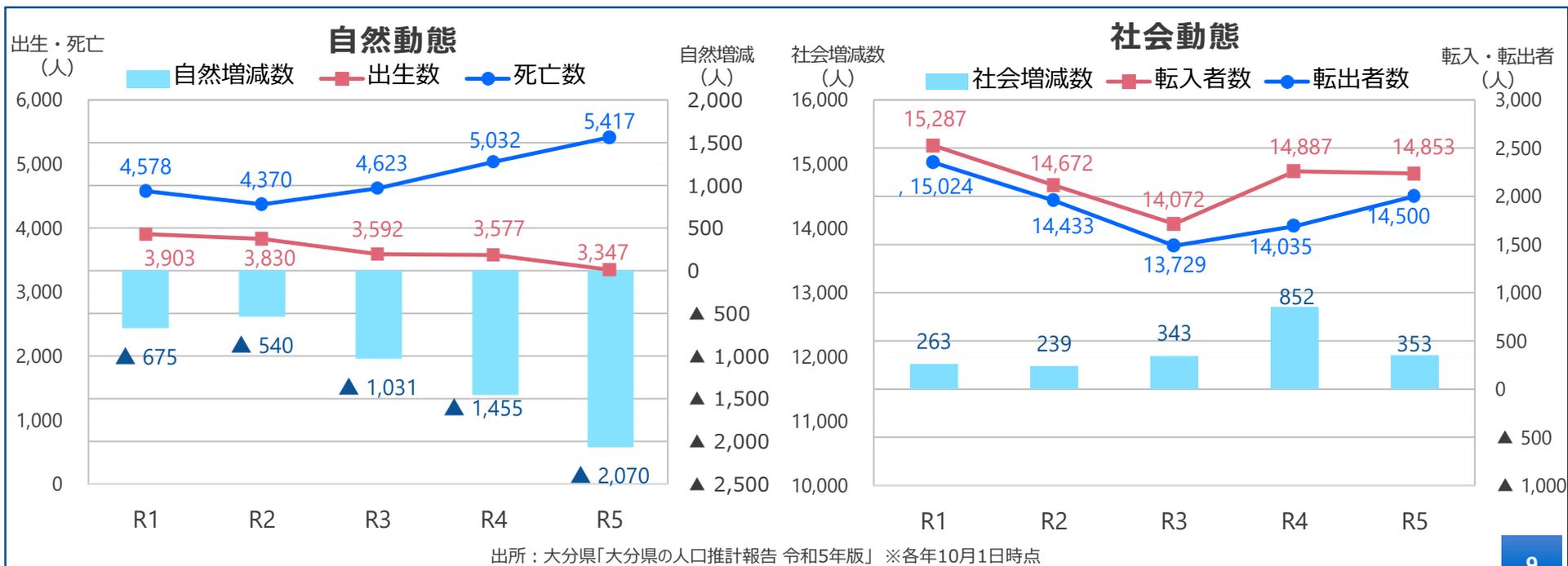
Copyright(C) OITA CITY. All Rights Reserved.

# 大分市の人口の状況

大分市の人口 **470,886**人(令和6年7月1日現在) ※全国62中核市のうち10番目の人口規模

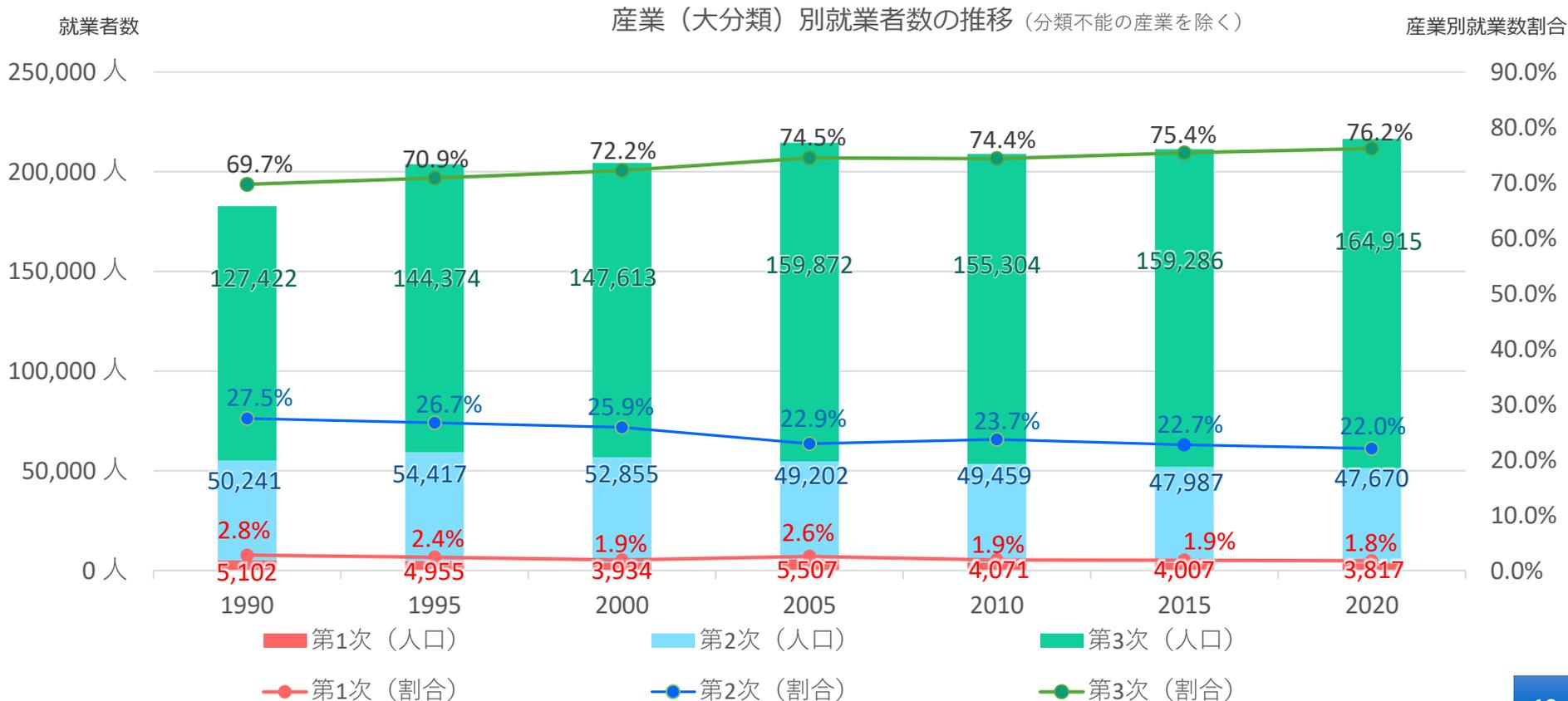
前年同月比 **-2,001**人

※出所：「大分県の人口推計」、「中核市都市要覧（令和5年度）」



# 大分市の産業別就業者数の推移

出所：総務省統計局「国勢調査」



# 大分市の生産年齢人口の推移

出所：総務省統計局「国勢調査」

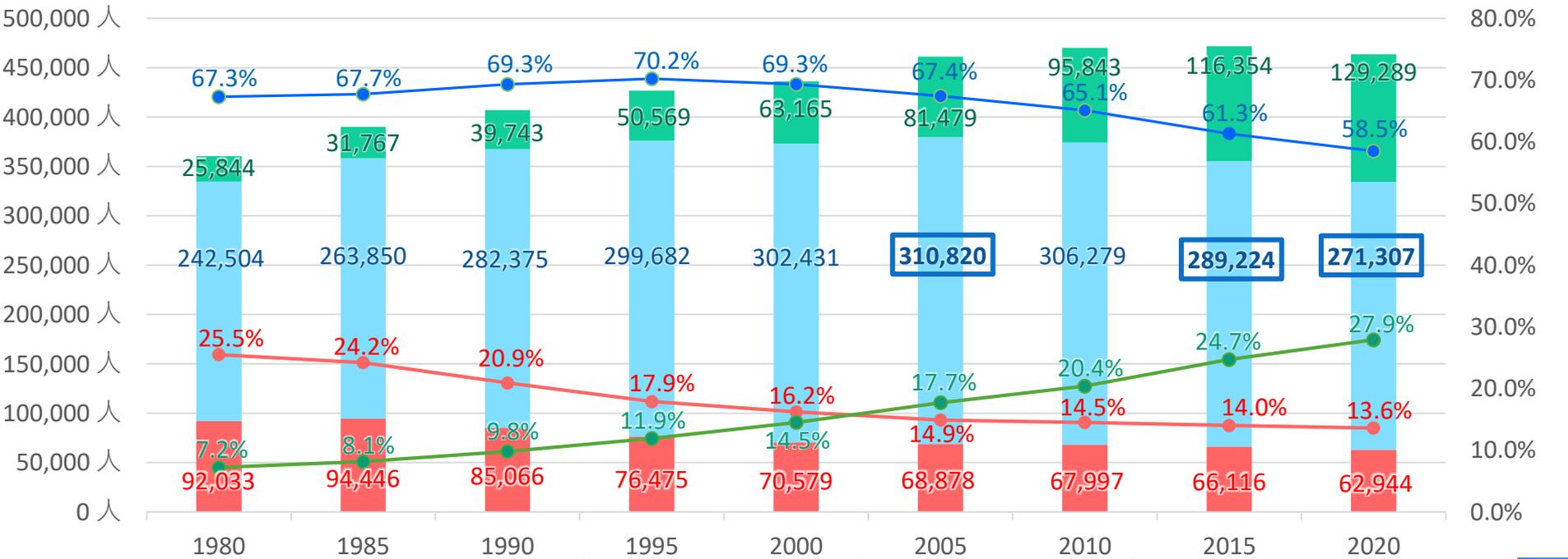
15～64歳(生産年齢人口)の減少数

- ① 271,307人(2020年) - 310,820人(2005年) = **-39,513人**
- ② 271,307人(2020年) - 289,224人(2015年) = **-17,917人**

年齢3区分別人口

年齢3区分別人口の推移 (年齢「不詳」の者を除く)

年齢3区分別人口割合



# 大分の雇用情勢など

◆市内の有効求人倍率：1.53倍 ※1.29倍(大分県) 1.23倍(全国)  
(大分労働局 令和6年7月30日発表分)

◆県内の正社員有効求人倍率：1.19倍 ※1.00倍(全国)  
(大分労働局 令和6年7月30日発表分)

◆県内の完全失業率：2.1% ※2.5%(全国)  
(大分労働局 令和6年7月30日発表分)

◆県内の雇用人員判断DI：-30 ※-35(全国)  
(日本銀行大分支店 令和6年7月1日発表分)



2024年問題 (働き方改革関連法による建設や物流、医療業界への影響)

# 直近の出生率など

出所：厚労省「令和5年（2023）人口動態統計月報年計」、大分県「保健所別・市町村別合計特殊出生率」

## ◆都道府県の合計特殊出生率（2023年）

	上位10	令和5年	前年
1	沖縄	1.60	1.70
2	長崎	1.49	1.57
	宮崎	1.49	1.63
4	鹿児島	1.48	1.54
5	熊本	1.47	1.52
6	福井	1.46	1.50
	島根	1.46	1.57
	佐賀	1.46	1.53
9	鳥取	1.44	1.60
10	山口	1.40	1.47
	香川	1.40	1.45
(12)	大分	1.39	1.49
(参考)	全国	1.20	1.26

	下位5	令和5年	前年
43	京都	1.11	1.18
44	秋田	1.10	1.18
45	宮城	1.07	1.09
46	北海道	1.06	1.12
47	東京	0.99	1.04

## ◆県内の合計特殊出生率（5年平均）

市町村	平成30年 ～令和4年	平成29年 ～令和3年
大分市	1.54	1.56
別府市	1.39	1.24
中津市	1.69	1.76
日田市	1.70	1.92
佐伯市	1.54	1.62
臼杵市	1.29	1.40
津久見市	1.35	1.62
竹田市	1.42	1.61
豊後高田市	1.75	1.61
杵築市	1.38	1.47
宇佐市	1.56	1.60
豊後大野市	1.34	1.46
由布市	1.61	1.53
国東市	1.36	1.43
姫島村	2.17	3.48
日出町	1.55	1.71
九重町	1.69	2.27
玖珠町	1.78	1.85
(参考) 県平均	1.53	1.55

# 少子化対策を最優先

少子化が進行すると・・・

- ・地域コミュニティの弱体化
- ・社会保障制度の疲弊
- ・地域経済の縮小
- ・労働力の不足
- ・市の財政の硬直化

・・・など社会や経済に多大な影響

# 令和6年度 医療政策について

---

# 安全・安心な医療体制

## ◆手術支援ロボットの導入・普及を促進

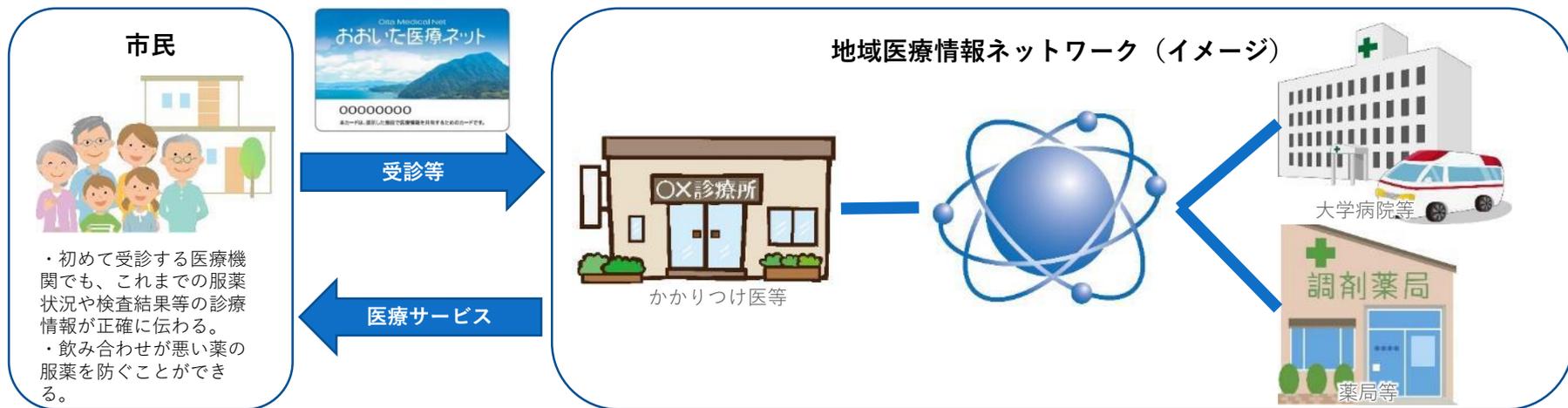
先進医療の導入・普及を図るため、手術支援ロボットの人材育成に係る研修費用等を補助



手術支援ロボット（イメージ）

## ◆おおいた医療ネット（地域医療情報ネットワーク）の運用

より良い医療サービスを提供するため、患者さんの同意のもと、地域の医療機関等が診療情報等を共有する「おおいた医療ネット」が令和6年7月1日から運用スタート



# 安全・安心な医療体制

## ◆消防指令業務の共同運用

県下14消防本部の119番通報を本市(おおいた消防指令センター)が一手に受け付けるもので、令和6年10月から運用開始を予定しており、都道府県単位での一本化は全国初



# 安全・安心な医療体制

## ◆救急医療の電話相談事業（#7119）の実施

病院の受診や救急車の要請などに迷った場合に、市民が安心して相談できるよう、令和6年10月から専用の電話相談窓口（#7119）を設置予定

### 市民

病院に行った方が良い？  
救急車を呼んだ方が良い？  
応急手当はどうしたら良い？

専用回線  
（#7119）

### 救急医療電話相談事業（#7119）

- ◆看護師などが相談に対応
  - ・病気やケガの症状を把握
  - ・緊急性、応急手当の方法、受診手段などについて助言
- ◆休日・夜間体制からスタート

緊急性の  
高い  
症状

緊急性の  
低い  
症状

### 救急搬送



迅速出動

### おおいた消防指令センター



### 医療機関の案内



# その他の支援の充実

## ◆小学生のピロリ菌検査を実施

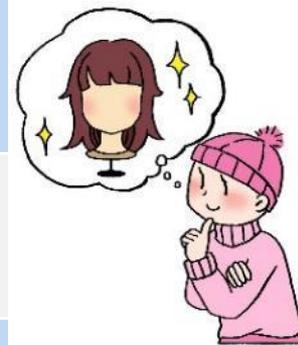
市立小学校の5年生の希望者を対象に検査を行い、検査後から除菌治療までの間、継続的にフォローアップすることで、将来の胃がん等のリスクを軽減



## ◆こどもの医療用ウィッグ等への助成

疾患等により脱毛症状のある小中高生等（6～18歳）の経済的負担及び日常生活の心理的負担の軽減を図るため、ウィッグ等の購入費用を助成

主体	県	市
事業名	大分県がん患者社会参加応援事業	こどものための医療用ウィッグ購入費等助成事業
助成対象者	以下のすべてに該当する方 ①申請時に県内に住所を有する ②がんと診断され、がんの治療を受けた、は現在受けている ③がんの治療に伴う外見の変化により、治療と就労、社会参加等の両立に支障が出る、又は出るおそれがある	以下のすべてに該当する方 ①小中高生等（18歳到達年度まで）またはその法定代理人が申請時に市内に住所を有する ②がんや <u>その他の疾病</u> による脱毛症状がある
助成対象物品	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療用ウィッグ（全頭用） ※装着に必要な頭皮保護用ネットを含む</li> <li>※部分的なかつらや部分的に毛髪がついた帽子などは対象外</li> <li>乳房（胸部）補整具（補整下着、人工乳房等）</li> <li>乳がん用バスタイムカバー（温泉入浴着）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療用ウィッグ（全頭用） ※装着に必要な頭皮保護用ネットを含む</li> <li>毛付き帽子、ケア帽子又はこれらに類する物品</li> <li>受診証明書の発行に係る文書料</li> </ul>
助成率	1/2（購入費）	1/2（購入または <u>リースに係る費用</u> ）
助成額	上限額 2万円（千円未満端数切捨て）	上限額 <u>5万円（1円未満端数切捨て）</u>
助成回数	生涯 1回	<u>毎年度 1回</u> （最大12回：小学1年生から18歳の到達年度まで）



医療用ウィッグ助成事業（イメージ）

# 今後の主なポイント

## 1. 診療報酬 +0.88% (R6年6月1日施行)

- ① 看護職員、病院薬剤師その他の医療関係職種（下記※に該当する者を除く）について、R6年度にベア+2.5%、R7年度にベア+2.0%を実施していくための特例的な対応 +0.61%
- ② 入院時の食費基準額の引上げ（1食当たり30円）の対応（うち、患者負担については、原則、1食当たり30円、低所得者については、所得区分等に応じて10～20円） +0.06%
- ③ 生活習慣病を中心とした管理料、処方箋料等の再編等の効率化・適正化 ▲0.25%
- ④ ①～③以外の改定分 +0.46%（※40歳未満の勤務医師・勤務歯科医師・薬局の勤務薬剤師、事務職員、歯科技工所等で従事する者の賃上げに資する措置分（+0.28%程度）を含む）  
うち各科改定率：医科+0.52%、歯科+0.57%、調剤+0.16%

## 2. 薬価等

- ① 薬価 ▲0.97% (R6年4月1日施行)
  - ② 材料価格 ▲0.02% (R6年6月1日施行)
- ※ イノベーションの更なる評価等として、革新的新薬の薬価維持、有用性系評価の充実等への対応を含む。
  - ※ 急激な原材料費の高騰、後発医薬品等の安定的な供給確保への対応として、不採算品再算定に係る特例的な対応を含む（対象：約2000品目程度）
  - ※ イノベーションの更なる評価等を行うため、長期収載品の保険給付の在り方の見直しを行う。  
⇒選定療養の仕組みを導入し、後発医薬品の上市後5年以上経過したもの又は後発医薬品の置換率が50%以上となったものを対象に、後発医薬品の最高価格帯との価格差の4分の3までを保険給付の対象とする（R6年10月1日施行）

## 3. 診療報酬・薬価等に関する制度改革事項

良質な医療を効率的に提供する体制の整備等の観点から、次の項目について、中央社会保険医療協議会での議論も踏まえて、改革を着実に進める。

- ・医療DXの推進による医療情報の有効活用等
- ・調剤基本料等の適正化

加えて、医療現場で働く方にとって、R6年度に2.5%、R7年度に2.0%のベースアップへと確実につながるよう、配分方法の工夫を行う。あわせて、今回の改定による医療従事者の賃上げの状況、食費を含む物価の動向、経営状況等について、実態を把握する。

# 令和6年度 介護政策について

---

# 大分市の高齢者年齢別人口

◆本市における65歳以上(高齢化)の割合は**29%** ※全国29.2%(令和6年2月1日時点)

◆65歳以上における75歳以上の割合は**50%超** ※全国56.1%(令和6年2月1日時点)

	令和6年3月(135,365/473,101人 ≒ <b>29%</b> )		
年 齢	男 性	女 性	合 計
65～69	13,717	15,690	29,407
70～74	15,535	18,057	33,592
75～79	12,740	15,810	28,550
80～84	8,679	11,846	20,525
85～89	4,762	8,498	13,260
90～94	2,126	5,166	7,292
95～99	470	1,853	2,323
100以上	38	376	414
<b>合 計</b>	<b>58,067</b>	<b>77,296</b>	<b>135,363</b>

**52%**

# 本市の地区別の高齢化率

◆最も高いのは佐賀関地区の**58%** ※市内平均29%

	人数			割合 (%)		
	計	男	女	15歳未満	15～64歳	65歳以上
本庁地区	203,475	96,522	106,953	12.6	61.0	26.4
鶴崎地区	82,608	40,369	42,239	15.0	58.6	26.4
大南地区	25,627	12,290	13,337	10.7	56.4	32.9
植田地区	79,183	37,550	41,633	11.5	52.7	35.7
大在地区	29,709	15,366	14,343	15.3	65.9	18.8
坂ノ市地区	20,808	10,357	10,451	17.6	58.3	24.1
佐賀関地区	7,262	3,411	3,851	3.6	38.7	57.8
野津原地区	3,917	1,847	2,070	7.2	44.6	48.2
明野地区	20,512	9,786	10,726	12.1	56.7	31.2
大分市合計	473,101	227,498	245,603	12.9	58.5	28.6

※出所：住民基本台帳人口（令和6年3月末時点）四捨五入の関係で一致しない場合がある。

# 本市の65歳以上の人口状況と推計（2040年問題）

## ◆65歳以上の人口は2040年頃まで増える見込み

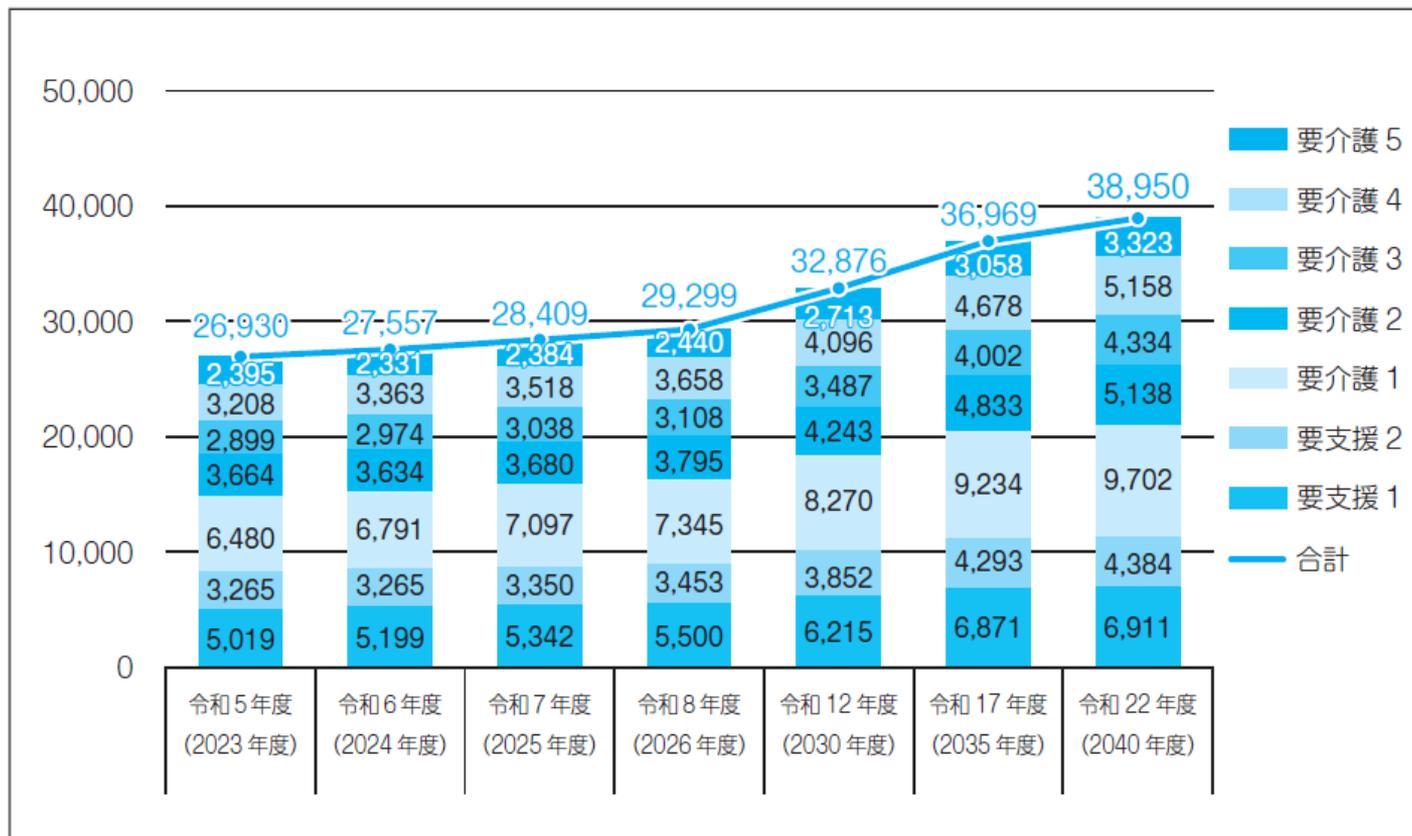
		令和5年度 (2023年度)	令和7年度 (2025年度)	令和22年度 (2040年度)
65歳以上 高齢者人口 (割合)	大分市	134,732人 (28.4%)	137,608人 (29.2%)	150,950人 (34.1%)
	大分県	374,386人 (34.2%)	376,715人 (35.0%)	359,804人 (38.4%)
	国	3,623万人 (29.1%)	3,653万人 (29.6%)	3,929万人 (34.8%)

※出所：大分市第9期介護保険事業計画

# 本市の要介護・要支援認定者の状況と推計（2040年問題）

## ◆要介護・要支援認定者は将来にわたり増える見込み

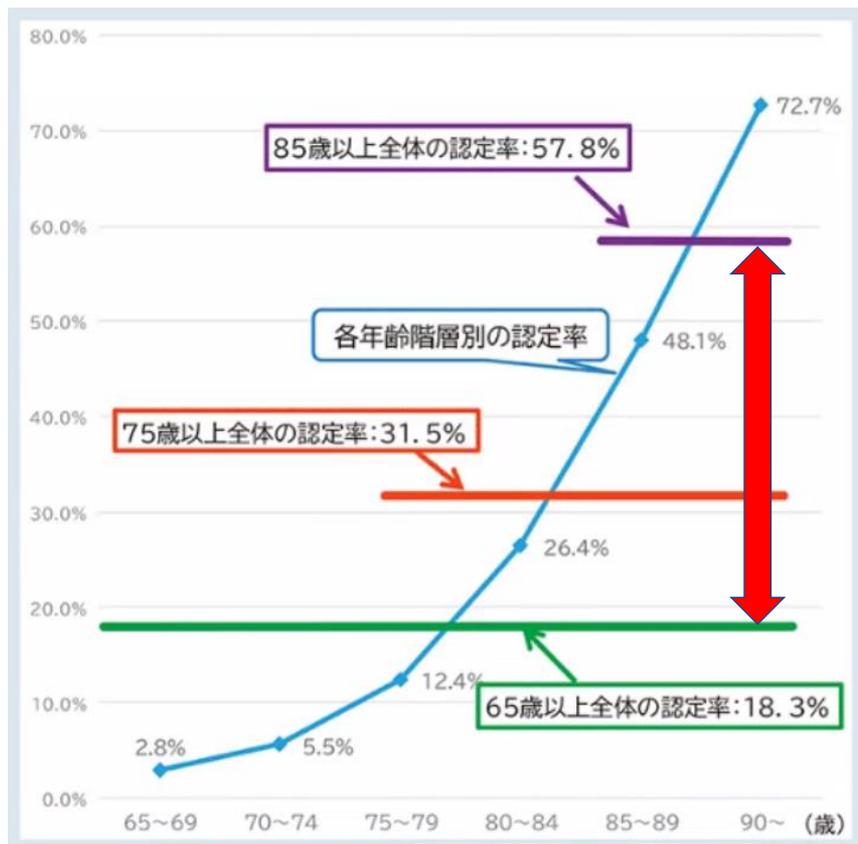
(人)



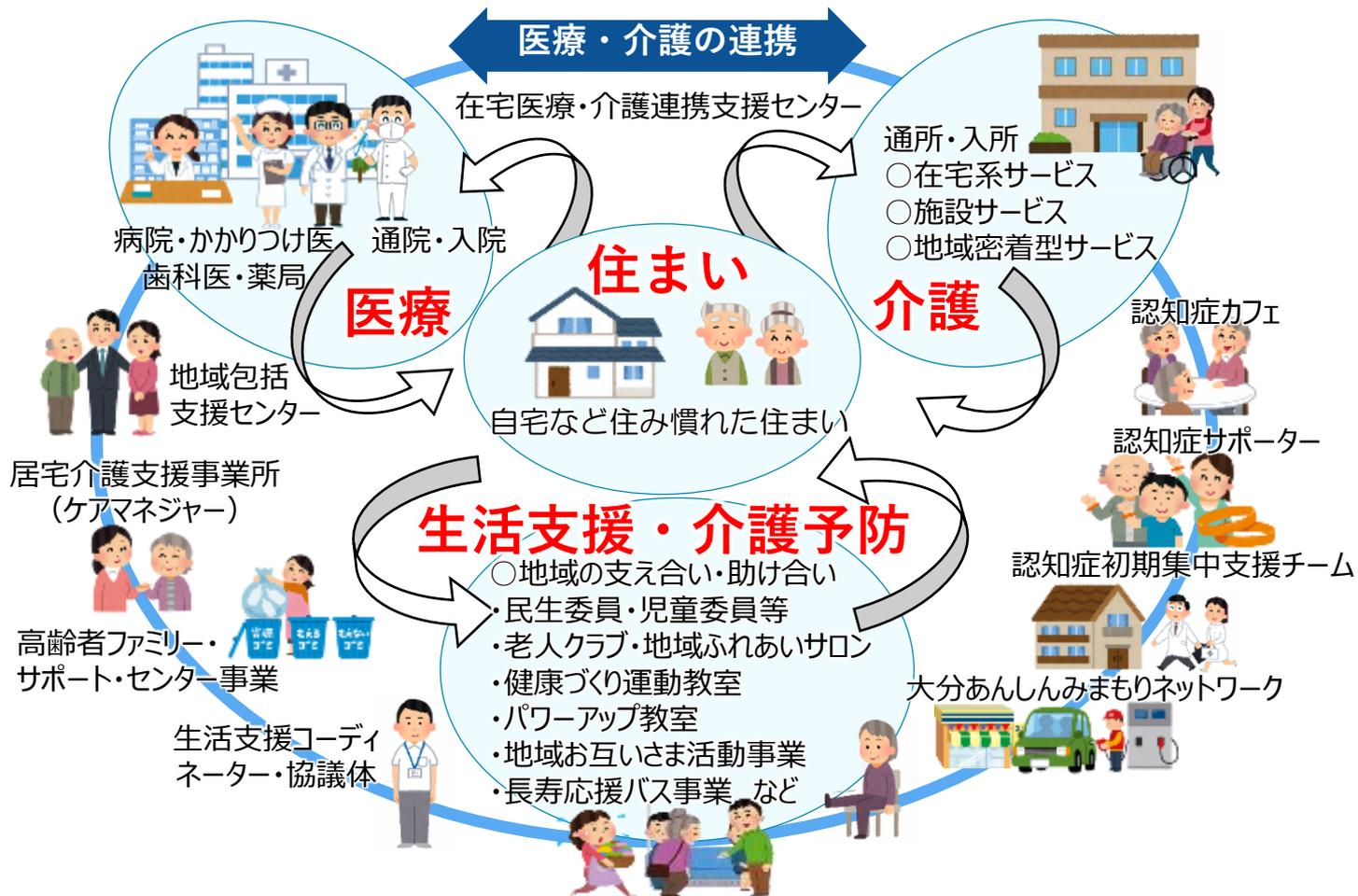
# 国内の年齢階級別の要介護認定率（2040年以降の懸念）

◆65歳以上に比べ85歳以上の要介護認定率は**3倍超**

※2040年以降、65歳以上における85歳以上の占める割合は高まる見込み



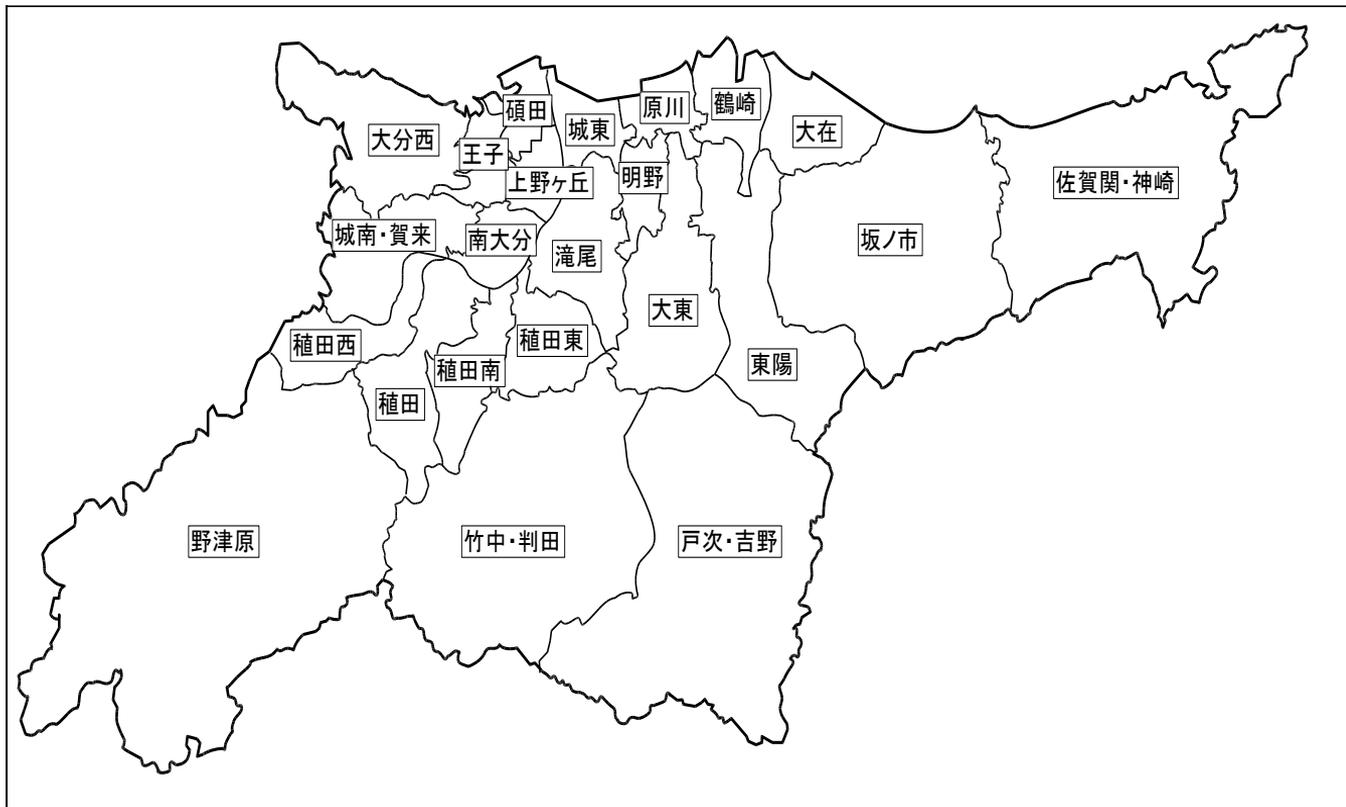
# 地域包括ケアシステムの深化・推進



# 安全・安心な介護体制

## ◆地域包括支援センターの設置（23の日常生活圏域）

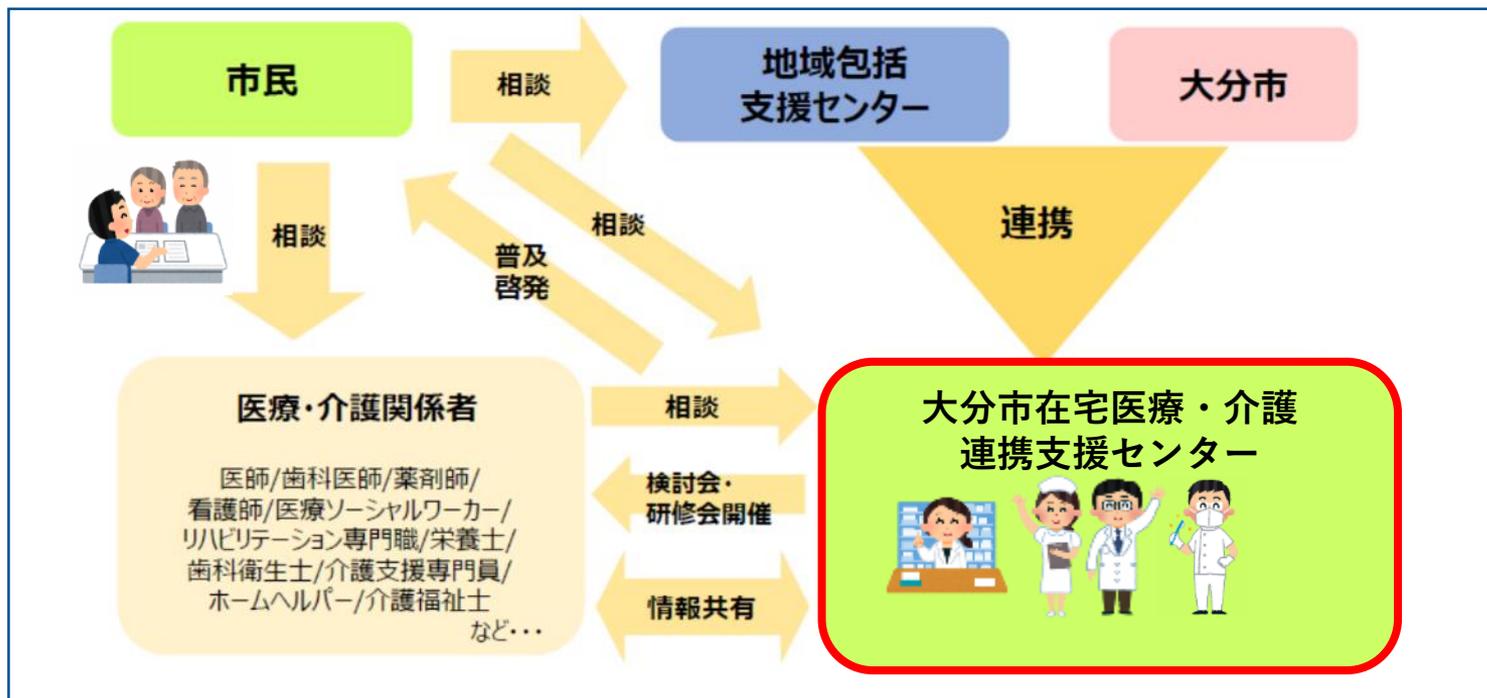
※中学校区を基本に高齢者人口の増加、地理的条件、生活形態等を総合的に勘案して設定



# 安全・安心な介護体制

## ◆大分市在宅医療・介護連携支援センターの設置

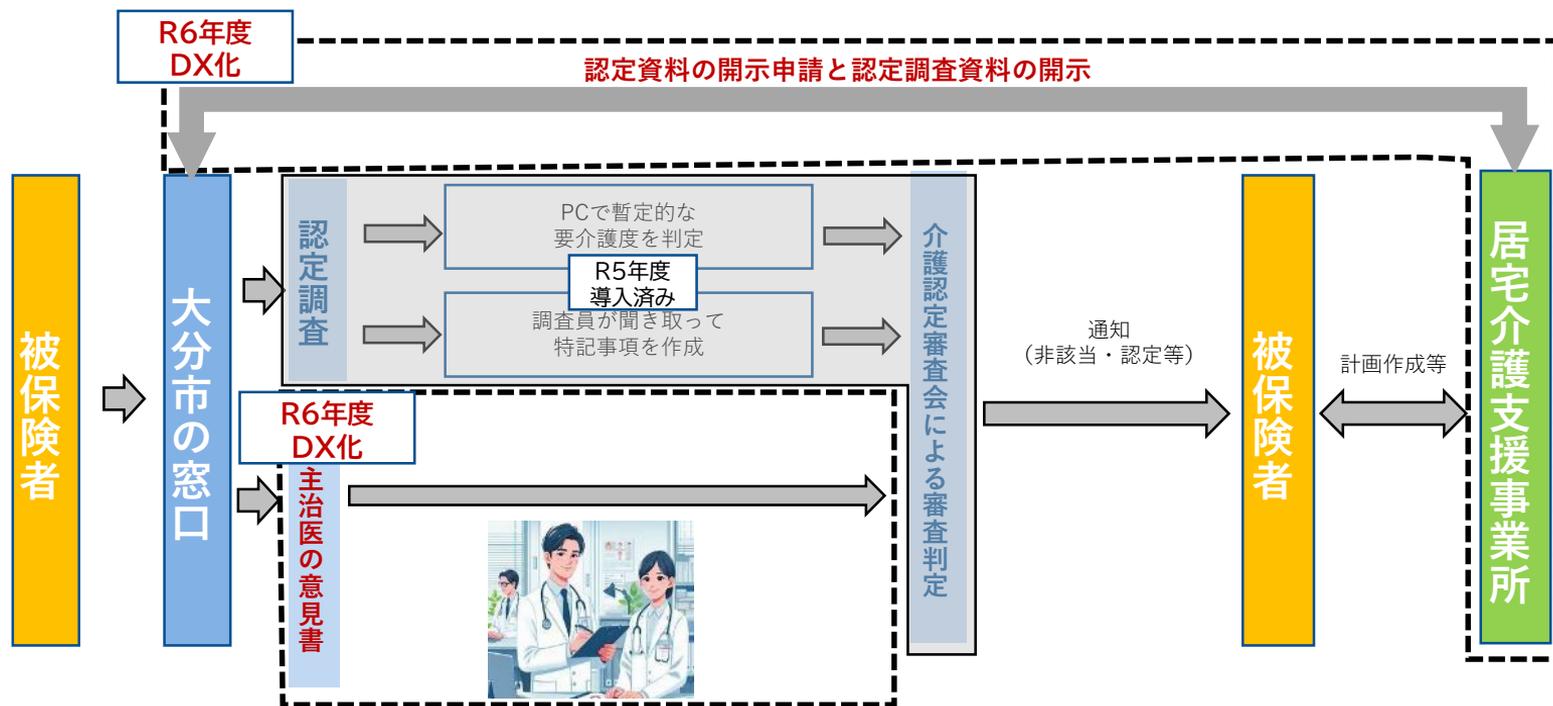
医療と介護のニーズを併せ持つ在宅の高齢者を地域で支えるため、「大分市在宅医療・介護連携支援センター」を設置し、在宅医療・介護に関する相談支援や医療・介護関係者の連携支援などを実施



# 安全・安心な介護体制

## ◆要介護認定のデジタル化を推進

迅速な介護サービスの提供のために、令和5年度から「**介護認定調査システム**」(認定調査票及び認定審査会資料の電子化・伝送、審査会のオンライン開催)を導入し、今年度は**更なるDX化**(主治医の意見書、事業所からの開示申請など)で**全国初の取組**を推進



# 今後の主なポイント

## ◆健康づくりや介護予防に取り組み健康寿命を延伸

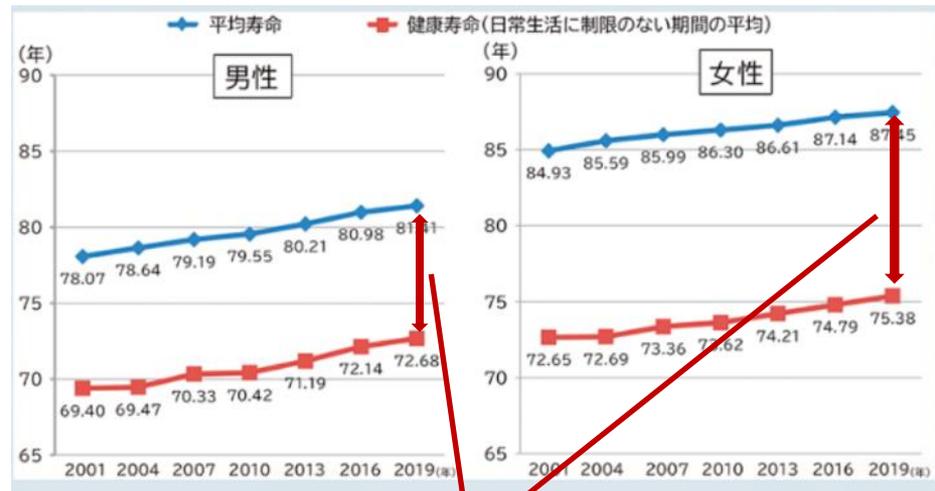
【介護が必要となった主な原因（大分市）】

	1位	2位	3位
全体	高齢による衰弱 17.6%	骨折・転倒 15.2%	関節の病気 11.2%
男性	高齢による衰弱 19.7%	糖尿病 13.0%	心臓病 12.5%
女性	骨折・転倒 17.6%	高齢による衰弱 16.4%	関節の病気 12.2%

※大分市高齢者福祉計画

トップ3は「フレイル」  
に関するもの

【平均寿命と健康寿命の推移（全国）】



※出所：令和4年版厚生労働白書

平均寿命と健康寿命の差  
男性：8.73年 女性：12.07年

# 今後の主なポイント

## ◆医療と介護の連携強化

医療と介護の連携の推進－高齢者施設等と医療機関の連携強化－

- 令和6年度介護報酬改定における、①高齢者施設等における医療ニーズへの対応強化、②協力医療機関との連携強化にかかる主な見直し内容

### 高齢者施設等

【特養・老健・介護医療院・特定施設・認知症グループホーム】

#### ①高齢者施設等における医療ニーズへの対応強化

■医療提供等にかかる評価の見直しを実施

＜主な見直し＞

- ・配置医師緊急時対応加算の見直し  
【(地域密着型)介護老人福祉施設】  
日中の配置医の駆けつけ対応を評価
- ・所定疾患施設療養費の見直し  
【介護老人保健施設】  
慢性心不全が増悪した場合を追加
- ・入居継続支援加算の見直し  
【(地域密着型)特定施設入居者生活介護】  
評価の対象となる医療的ケアに尿道カテーテル留置、在宅酸素療法、インスリン注射を追加
- ・医療連携体制加算の見直し  
【認知症対応型共同生活介護】  
看護体制に係る評価と医療的ケアに係る評価を整理した上で、評価の対象となる医療的ケアを追加

#### ②高齢者施設等と医療機関の連携強化

■実効性のある連携の構築に向けた運営基準・評価の見直し等を実施

(1)平時からの連携

- ・利用者の病状急変時等における対応の年1回以上の確認の義務化（運営基準）
- ・定期的な会議の実施に係る評価の新設

(2)急変時の電話相談・診療の求め

(3)相談対応・医療提供

- ・相談対応を行う体制、診療を行う体制を常時確保する協力医療機関を定めることの義務化※1（運営基準）

(4)入院調整

- ・入院を要する場合に原則受け入れる体制を確保した協力病院を定めることの義務化※2（運営基準）
- ・入院時の生活支援上の留意点等の情報提供に係る評価の新設

(5)早期退院

- ・退院が可能となった場合の速やかな受入れの努力義務化（運営基準）

#### 在宅医療を支援する地域の医療機関等

- ・在宅療養支援診療所
- ・在宅療養支援病院
- ・在宅療養後方支援病院
- ・地域包括ケア病棟を持つ病院

等を想定

※割愛

将来的な展望

---

オール市民でまちを創る

# one team ITA

ワンチーム  
おおいた

ご清聴ありがとうございました